

I C T活用工事積算要領（本体工編）（モデル工費用）（令和5年4月版）

I C T活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・ 共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
港湾構造物工事	7.97% (7.97%) <7.93%>	132.7 (134.0) <134.6>	-0.1802 (-0.1808) <-0.1814>	2.80% (2.79%) <2.77%>

※ICT 基礎工が含まれる工事は（ ）の率を、ICT 海上地盤改良工と ICT 基礎工の両方が含まれる工事は、< >の率を適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{ (小数 3 位四捨五入)}$$

ただし、

K r : 共通仮設費率 (%)

P : 共通仮設費率の算出対象額 (円)

a、b : 定数値

② 「ICT 施工」代価表

(1) ケーソン据付 (ウインチ方式) 1 函当り

名 称	形状寸法	単 位	数 量								摘 要
			一連据付方式				進水据付方式				
			起重機船 方式		起重機船・ 引船併用方式		起重機船 方式		起重機船・ 引船併用方式		
			A	B	A	B	A	B	A	B	
起 重 機 船	非航旋回 鋼 D t 吊	日	1	2	1	2	0.5	1	0.5	1	運 4H/就 8H
台 船	鋼 300t 積	"	1	2	1	2	0.5	1	0.5	1	就 業 8H
引 船 ①	鋼 D PS 型	"	1	2	1.5	3	0.5	1	1	2	運 4H/就 8H
引 船 ②	鋼 D PS 型	"	1								運作業能力/就 8H
引 船 ③	鋼 D PS 型	"									"
潜 水 士 船	D270PS 型 3~5t 吊	"	1	2	1	2	0.5	1	0.5	1	就 業 8H
揚 錨 船	鋼 D 5t 吊	"	1	2	1	2	0.5	1	0.5	1	"
特殊作業員		人	労務員数算定式による								
と び 工		"	"								
普通作業員		"	"								
施工管理システム		日	1	2	1	2	1	1	1	1	損 料
施工管理システム操作員		人	1	2	1	2	1	1	1	1	
雑 材 料		%	2.5								発動発電機・ 水中ポンプ運 転、ワイヤー プ・錨・ウ インチ 損料を含む